



議会だより

2021年7月20日 発行

No.220

Tsunan-Town

つなんまち

6月定例会 6/16~18

臨時議会・補正予算	02
6月議会採決結果	03
一般質問～町政を問う	04~09
請願・討論	09
委員会レポート・ほか	10~11
町民登場	12



とどけよう!
自慢のユリを
全国に

津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 吉野 徹

[写真] 岡の切花農家

新型コロナウイルス感染症対策として都市部では緊急事態宣言がくり返され、再び感染者が増加傾向となっています。東京オリンピックを間近に控え、多くの国民が不安に思っているところです。津南町では4月下旬に感染者が多く発生しましたが、このところ感染者「0」が続いており、希望する高齢者へのワクチン接種も7月末までに終了する予定で、町民の皆様もホッとしているところではないでしょうか。

さて、6月定例議会では、このコロナ感染症のワクチン接種と感染対策、経済対策について多くの議員が集中的に一般質問を行い、活発な議論を交わしました。

また、予算面ではコロナ対応で緊急に執行の必要のあった専決処分の補正予算を承認し、議案10件も合わせて可決しました。

第2回臨時議会

〔令和3年3月30日開会〕

令和2年度 一般会計補正予算

補正額 1億9,517万円
総額 84億7,019万円

歳出

基金積立金 1億752万円
ニュー・グリーンピア運営基金積立金 △1,500万円
病院補助金 1億37万円

令和3年度 一般会計補正予算第1号

補正額 786万円
総額 70億9,586万円

歳出

高齢施設新規入所者ウイルス検査、温浴施設体質強化事業補助など

第3回臨時議会

〔令和3年4月23日開会〕

令和3年度 一般会計補正予算第2号

補正額 9,968万円

歳入

総額 71億9,554万円
国庫支出金 8,802万円
ワクチン接種体制確保、コロナ対応地方創生臨時交付金など
県支出金 20万円
前年度繰越金 1,145万円

歳出

総務費

電算処理費 767万円
ホームページリニューアルなど

衛生費

健康増進費 450万円
新生児特別定額給付

予防費 2,007万円
ワクチン接種人件費、管理、備品、接種者輸送など

農林水産事業費

農業振興費 2,364万円
新規就農者滞在施設改修、コロナ禍におけるネット販売や通販サイトの整備補助

商工費

商工振興費 2,340万円
飲食・宿泊業等経営安定化給付金、事業者PCR検査支援

観光費 600万円
観光情報ページ等の改修

教育費

小・中学校費 1,377万円

小学校エアコン、電子黒板、中学校大型ファン導入など

第2回定例会

令和3年度一般会計補正予算 第3号専決・第4号

補正額 1億5,749万円
総額 73億5,303万円

歳入

国庫支出金 5,360万円
ワクチン接種事業やコロナ関連子育て生活支援への負担金や補助金、コロナ対応臨時交付金など

県支出金 67万円
繰入金 1,313万円
ふるさと支援町づくり基金から

前年度繰越金 4,538万円
諸収入 4,469万円
医学士修学貸付金返還、建物豪雪災害共済金など

歳出 施策の主な項目

総務費

文書広報費 551万円
庁舎ネットワーク更新

ニュー・グリーンピア津南整備費 171万円
雪害リフト乗場修繕

補正予算、6月議会採決結果

企画費	コミュニティ助成事業 230万円	林業会館、竜神の館、萌木の里など施設修繕
民生費	辰ノ口、中子公民館設備改修 887万円	土木費 道路橋梁費 782万円 町道修繕、消雪パイプ補助
臨時特別給付事業費	子育て世帯生活支援特別給付など 983万円	教育費 総合センター管理費 130万円 体育館照明昇降器修繕
衛生費	ワクチン接種人件費、仮設会場費用 1,054万円	保健体育費 603万円 マウンテンパーク屋根・カガレポート報知器修繕など
病院費	病院整備費 1,400万円	特別会計補正予算案
農林水産事業費	手洗い等水回り修繕、医療器械整備 262万円	○介護保険特別会計(第1号) 補正額 262万円
農業振興費	堆肥センター雪室修繕、炭化施設撤去費用 371万円	○下水道事業特別会計(第1号) 補正額 1,400万円
農地費	農村環境整備(ため池修繕、農道舗装)など 1,288万円	○耐水化計画策定事業 補正額 6億3,128万円
商工費	農道舗装など 1,288万円	○病院事業会計(第1号) (収益的収支) 補正額 732万円
商工振興費	消費拡大キャンペーン・コロナ対策認証制度設備補助など 148万円	総額 13億7,148万円
観光費	810万円	総額 13億7,148万円

令和3年 第2回津南町議会定例会 議決の結果

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
承認第5号	専決処分の承認について (令和3年度津南町一般会計補正予算(第3号))	令和3年6月18日	承認
承認第6号	専決処分の承認について (令和3年度津南町国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	令和3年6月18日	承認
議案第32号	津南町新型コロナウイルス感染症防疫等作業に係る特殊勤務手当の特例に関する条例の制定について	令和3年6月18日	原案可決
議案第33号	津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	令和3年6月18日	原案可決
議案第34号	津南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	令和3年6月18日	原案可決
議案第35号	津南町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	令和3年6月18日	原案可決
議案第36号	財産の取得について(除雪タイヤドーザ)	令和3年6月18日	原案可決
議案第37号	工事請負契約の締結について(津南町埋蔵文化財センター改築工事)	令和3年6月18日	原案可決
議案第38号	令和3年度津南町一般会計補正予算(第4号)	令和3年6月18日	原案可決
議案第39号	令和3年度津南町介護保険特別会計補正予算(第1号)	令和3年6月18日	原案可決
議案第40号	令和3年度津南町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	令和3年6月18日	原案可決
議案第41号	令和3年度津南町病院事業会計補正予算(第1号)	令和3年6月18日	原案可決
発議案第2号	津南町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	令和3年6月18日	原案可決
請願第1号	津南町議会議場に国旗の掲揚を求める請願	令和3年6月18日	採択

町政を問う!!

一般質問 (10議員)

- 1** **草津 進** 議員 (4ページ)
1. 新型コロナウイルス感染症対策室の対応と対策について
 2. 津南町教育水準向上について
- 2** **久保田等** 議員 (5ページ)
1. 雇用の拡大について
 2. 地域活性化企業人制度と地域おこし協力隊の採用の検討について
 3. 婚活支援対策について
- 3** **筒井秀樹** 議員 (5ページ)
1. コロナワクチン接種と経済再生に向けた出口戦略について
 2. 雪害等による町内の倒木や森林整備の今後について
- 4** **関谷一男** 議員 (6ページ)
1. コロナウイルスワクチン接種と今後について
 2. 変異ウイルスについて
- 5** **小木曾茂子** 議員 (6ページ)
1. 足滝地区の集団移転希望に関する町の見解は
 2. 空き家の管理、活用の推進について
 3. 予算付けされた第2の障がい者用グループホーム建設について

- 6** **恩田 稔** 議員 (7ページ)
1. 新型コロナウイルス感染対策店「認証」について
 2. 津南町飲食店等経営安定化支援事業給付金事業の現状について
- 7** **桑原義信** 議員 (7ページ)
1. 米対策について
 2. コロナ禍中小企業支援について
 3. 公共施設登録料有料化について
 4. 町民検診・人間ドックについて
- 8** **桑原洋子** 議員 (8ページ)
1. ワクチン接種と予約方法の改善策を問う
 2. 大規模なPCR検査を文字通り実行し感染を封じ込めること
 3. 国保料の子どもの均等割負担軽減を
 4. 地域医療を守り医療に手厚い町政へ
 5. 保育園の感染症対策は万全か
- 9** **村山道明** 議員 (8ページ)
1. 新型コロナワクチン未接種者の不当差別について
 2. ひまわり保育園増築について
 3. 冬期間の雪捨て場確保について
 4. 町道、農道路線について
- 10** **石田タマエ** 議員 (9ページ)
1. 保育園建設の進捗状況及び今後のスケジュールについて
 2. 津南中等教育学校の方向性及び支援策について
 3. 新型コロナウイルス感染症対応について

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

ワクチン接種の医師、看護師の確保は

町長 社会全体の先行きが見通せない状況である。町民が受けた影響、衝撃をしっかりと捉え、安心を担保する医療介護や子育て教育といった社会

保障的な政策をとりながら、産業面でも前に進めていく。

町長 電話とインターネットの開始時間のズレによる事務的なミスによるトラブルであり、次の接種予約は電話とネットを同時に開始した。一日の接種回数を増やし接種を加速させる。

町長 「希望と愛、参加のできるまちづくり」は、コロナによる公約にブレーキがかかっているが取組の優先は。

町長 「継続は力なり」を大切に取組んできた。「なぜ成らぬは人の為さぬなりけり」を合わせて考えている。まずは目的を決め手段を考え継続的にやってみることが大事である。

町長 「継続は力なり」を大切に取組んできた。「なぜ成らぬは人の為さぬなりけり」を合わせて考えている。まずは目的を決め手段を考え継続的にやってみることが大事である。

町長 現状を確認しながら保護者、地域の意見を聞いていく。

町長 現状を確認しながら保護者、地域の意見を聞いていく。

残りの一年何を優先し、次につなげるか



草津 進 議員



継続は力なり(元気に遊ぶ子どもたち)

町長 「継続は力なり」を大切に取組んできた。「なぜ成らぬは人の為さぬなりけり」を合わせて考えている。まずは目的を決め手段を考え継続的にやってみることが大事である。

国の支援制度を積極的に活用すべき



久保田 等 議員

「サテライトオフィス」の誘致は

問 5年前からサテライトオフィスを誘致すると言っているが全く何もして来なかった。今現在どの様な状況か。

町長 IT企業誘致のマッチング会社と委託契約した。年に2社の誘致を計画している。(5年で10社を予定)

地域おこし協力隊の起業の予定は

問 町の活性化、また退任後に移住して頂く為にも、初めから町の課題解決の為に起業型地域おこし協力隊の募集検討を。

町長 今まで1名の方が起業している。今の地域おこし協力隊の方の中にも起業を検討している方が複数いる。

「地域活性化企業人」「地域プロジェクトマネージャー」の起用は

問 観光業の振興・津南型ツーリズムの推進、また来春のDMO

の発足に向けて外部の力が必要ではないか。

町長 観光のあり方を根本から見直している。様々な国の人材支援制度があるが、町の意向とマッチすれば導入を考えていく。

「婚活」支援は

問 成果が出ないからと婚活支援を辞めてから2年が経つ。新しい婚活支援を検討したか。これからはオンラインでの婚活や、新しく始まった「移住婚」の受け入れには婚活専門のコーディネーターが必要だと思うが、総務課で出来ないならミッション型地域おこし協力隊等外部から採用して頂きたい。

町長 婚活支援について検討はしている。ミッション型地域おこし協力隊は婚活の専門性が必要である。移住婚はいい制度だとは思いますが結婚と移住の同時はハードルが高いためコーディネーターは考えていない。

【移住婚とは?】

都市から地方に移住と結婚の両方を希望する独身者に結婚相手と移住先を同時にサポートする取り組みが「移住婚」です。無料の婚活支援協会のこの制度は昨年より岐阜県で受け入れが始まっていて、既に70名の方が自治体に紹介され、1組が成婚されました。(20代・30代の女性が9割を占めています。)

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

今年は、安心な忘年会を!!



筒井 秀樹 議員

コロナワクチン接種と経済再生に向けた出口戦略について

問 町内希望者ワクチン接種の目途がついてきていると思うが、現状の完了予定はいつか。ワクチン接種が経済再生に向けての一つの目安となると思うが、経済再生に向けた戦略は考えているか。

町長 65歳以上は7月末で完了予定。64歳以下は順次7月下旬から、できるだけ早い完了を目指す。消費喚起策として近隣に類を見ない規模での補助を補正予算で計上した。次に体質強化策を打ち出していく。

問 町外の学生、町内の学生の接種を夏休み中にできないか。

福祉保健課長 町内外の学生には、夏休み期間中に受けられ

るよう検討中である。
問 観光をどう取り戻すか。
観光地域づくり課長 まだ、新たなビジョンはない。

雪害等による町内の倒木や、森林整備の今後について

問 今季は雪害による山林の倒木などが多く見られる。高齢化が進み、美しい森林を行政の介入なしに維持するのは限界がある。どう対処したらよいか。

町長 所有者の対応が困難な場合は集落などの処理や、多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度を活用して整備の検討を願いたい。森林環境譲与税の活用も検討する。



経済再生にはワクチン接種

ワクチン接種と変異株感染を問う



関谷 一男 議員

接種または断念されたかたの感染症対策は

問 ワクチン接種を希望されたかたと、個人の事情や副反応を心配し接種を断念されたかた、年齢制限で接種できない子供達の今後の感染症対策をどのように考えているか。

変異ウイルスの流入と感染防止対策は

問 国内でも変異ウイルス感

染が大変問題になっているが町では変異株についてどう考えているか。町内への流入、感染症防止対策は。

町長 変異ウイルスは現在世界で急速に広がっている。異なる複数の種類があると報告されており、現時点で分かっている特徴としては感染しやすい、重症化しやすい、免疫力やワクチンの効果を低下させる可能性があるなどがあげられている。コロナウイルスは今後変異ウイルスに置き換わっていくとの情報もあり脅威を感じている。対策としては、これまで通り一人ひとりの基本的感染症対策を徹底していくことが重要と考えている。町としての感染症対策も継続する。



職場、家庭、車内でもコロナ対策

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

住民にやさしい津南町に



小木曾 茂子 議員

足滝地区堤防問題で、連絡協議会設置を

問 流域治水関連法の趣旨にのっとり、有識者、住民を交えた協議会設置を要請する。

町長 堤防整備のための協議会設置は可能。住民の意向を最優先に県と協議したい。

空き家問題の解決に向けて

問 町内の空き家調査の結果を教えてください。

町長 5年前には総数で3083棟あった。増えていると思われる。

問 空き家等対策推進に関する特別措置法に基づいて、法定協議会を設置し、利活用を含めて検討すべき。

町長 空き家の利活用という面で、庁舎内の若手でプロジェ

クトを立ち上げ検討している。**障がい者グループホームの建設について**

問 当事者団体との話し合いは進んでいるか。改築、入所者も当事者の意見を聞くべき。

町長 津南町自立支援協議会で検討を続けている。国県の補助金が7月～8月にははつきりするので、入居者の募集もその後に事業者から示される。



足滝地区3メートル堤防の丁張

観光業、飲食店関係の支援について

問 認証取得に必要な設備や改修については県の補助もあるが、売上が激減している中、またコロナ終息後には不要になる物に投資をすることは事業所にとっては厳しい。町独

自に上乗せ支援できないか。

町長 今議会の補正予算で、県の感染症対策認証制度を推進するため、設備導入支援事業として、自己負担額の一部を支援する。

問 津南町飲食店等経営安定化支援事業給付金について、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年の事業収入が令和元年と比較し50万円以上減少した飲食店、宿泊業、食料酒卸売業等が対象になっているが、所得に対しての方が公平ではないか。

町長 所得の場合は設備投資など他要因の影響が出ることまた収入の方が補助事業成果を容易に判断できることから適切と考えている。

問 飲食店の新型コロナウイルス対策を自治体などが確認し、「お墨付き」を与える認証制度（やまなしグリーンゾーン認証）を、40都道府県が導入あるいは導入を計画していることが報道された。新潟県の進捗状況、見通しは。

町長 県の認証制度は6月11日より申請受付が始まり応募期限は7月31日までで、現在、各飲食店等に情報提供の準備を行っている。



恩田 稔 議員



「にいがた安心なお店応援プロジェクト」認証制度。ニュー・グリーンピア津南は6月24日に認証された。

問 飲食店の新型コロナウイルス対策を自治体などが確認し、「お墨付き」を与える認証制度（やまなしグリーンゾーン認証）を、40都道府県が導入あるいは導入を計画していることが報道された。新潟県の進捗状況、見通しは。

町長 県の認証制度は6月11日より申請受付が始まり応募期限は7月31日までで、現在、各飲食店等に情報提供の準備を行っている。

問 飲食店の新型コロナウイルス対策を自治体などが確認し、「お墨付き」を与える認証制度（やまなしグリーンゾーン認証）を、40都道府県が導入あるいは導入を計画していることが報道された。新潟県の進捗状況、見通しは。

町長 県の認証制度は6月11日より申請受付が始まり応募期限は7月31日までで、現在、各飲食店等に情報提供の準備を行っている。

問 津南町飲食店等経営安定化支援事業給付金について、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年の事業収入が令和元年と比較し50万円以上減少した飲食店、宿泊業、食料酒卸売業等が対象になっているが、所得に対しての方が公平ではないか。

町長 所得の場合は設備投資など他要因の影響が出ることまた収入の方が補助事業成果を容易に判断できることから適切と考えている。

問 津南町飲食店等経営安定化支援事業給付金について、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年の事業収入が令和元年と比較し50万円以上減少した飲食店、宿泊業、食料酒卸売業等が対象になっているが、所得に対しての方が公平ではないか。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う！

米価下落の危機打開を

問 ミニマムアクセス米は廃止せよ

町長 ミニマムアクセス米は飼料用米や援助用米等の用途に使用されており、主食用米作付けが主体の当町には直接的影響は少ないと考える。県内の主食用米の在庫状況は近年にない水準で増加し、一層の価格下落につながりかねない。津南産米は一定の評価を頂い

問 コロナ禍で米需要が減少し、米価下落が続いている。菅政権の対策は令和3年産主食米作付けを生産者の責任に押し付けているのが現状だ。毎年7万トンのミニマムアクセス米を輸入し続けていることをどう捉えているか。国内産米優先の米政策に転換すべきではないか。

町長 中小規模農家の機械補助については、集落内での話し合い等により組織化や機械の共同利用について検討いただきたいと考えている。

問 農業の担い手確保のために中小農家にも農機具の購入に補助金制度を創設する考えはないか。

町長 農業者の所得確保に向け国県による支援措置活用に加え、スマート農業導入によるコスト低減、収入保険制度加入を推進していく。

問 個別所得補償制度を復活すべきと思うが考えは。

町長 農業者の所得確保に向け国県による支援措置活用に加え、スマート農業導入によるコスト低減、収入保険制度加入を推進していく。

問 個別所得補償制度を復活すべきと思うが考えは。



桑原 義信 議員



米作って飯食べねえ

ワクチン接種予約 混乱の責任は



原 洋子 議員

事務的ミスで済む事ではない

問 新型コロナウイルスワクチン接種の予約トラブルで苦情の声を多く聞いた。町のトップとして責任を感じているか。

町長 迅速な接種推進が求められ、当町における一大事業となった。4月8日の予約トラブル、電話とネットの開始時間のズレについて事務的なミスによるものでご負担ご心労をおかけし、町長として責任を感じている。
問 単純に「事務的ミス」で済むことではなかった。ネットや電話でなく日時指定など選択肢は考えなかったか。また、広報無線で課長が謝罪した。なぜ町長がしなかったか。

町長 割り当て制についても検討した。混乱を招き大変申し訳ない。課長にも心労をかけた。

私の思慮についてお詫び申し上げます。今回を教訓により適切に準備し、更なる注意を払っていく。

今後のスケジュールは

町長 65歳以上のほとんどの方は7月中に2回目の接種を完了する予定。64歳以下の方へのアンケート結果を見ながら今後の日程や予約方法を決定していきたい。

国保料の子どもの均等割負担軽減を

問 厚労省は、来年度から国保加入家庭の小学校入学前の子供の保険料を半額助成する。これを契機に町も独自に支援し、対象者と軽減額の拡大を国に求めている。どう思いますか。

町長 導入は難しい。国の支援は不十分だ。国に対し年齢拡大と軽減に伴う財政負担を強く求めている。



庁舎3階に設置したワクチン接種対応室

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

朝園児出迎え職員の増は



村山道明 議員

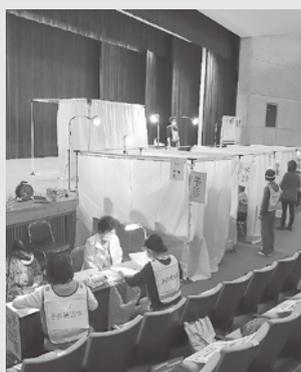
若者へのワクチン接種券は

問 大規模な会場で接種が始まっているが、若者(学生も含む)への接種券の発送はいつ頃になるか。福祉保健課長 7月には届くようにしたい。

朝園児の玄関先出迎え職員不在が不安だ

問 ひまわり保育園の増築後に職員配置減が示されている。朝の登園時、玄関先に園児出迎え職員がいけない場面が生じないか不安である。現状体制を含めて伺う。

教育長 早朝保育では現在、ひまわり保育園の希望園児は、39名程度。職員体制は、朝7時30分から正職員2名と任用職員1名計3名で対応している。内2名は保育室で園児を



ワクチン接種会場

見守り、1名が玄関対応している。ひまわり、北部、こぼと保育園が統合後の早朝利用者は、80名程度となり職員体制は、倍近い体制が必要である。出迎え職員がいけないことがないようにしたい。

雪捨て場確保は重要課題だ

問 冬期間の集落内や中小企業者駐車場確保のための雪捨て場は、道路除雪と共に重要課題。雪捨て場を確保する考えはないか。

町長 冬期除雪事業は町民の日常生活や地域経済を維持するために重要な施策。その中で雪捨て場の確保は重要課題であるが、排雪場での重機による雪押し作業など危険が伴う。安全管理確保が出来ない状況となるので指定は難しい。道路管理者間で連携を図りながら課題に取り組む。

町内の高校生への支援は考えているか



石田 タマエ 議員

保育園実施設計の最終予算額は

問 3月末に報告を受けた実施設計で、建設工事予算額はいくらになったか。
教育長 入札に影響するので公表することはできない。

問 3月議会で課題としたまま進めている①通園道路(中央線)の改良、②わかば保育園・上郷保育園の統合時期、③それに伴う定員の見直しについてはどうするか。
建設課長 中央線の側溝には蓋をし、各玄関先は冬季間グレーチングを開閉できるようにする。

教育長 令和5年度には3園が統合し、わかば・上郷の各保育園はその後検討する。定員については、250人と考えている。

中等教育学校の存続を

問 3月末に示された県の回答



自然を取り戻したい建設予定地

町長 津南中等教育学校へ通っている前期課程生徒への支援は、地域の発展、学校の存続に向けた支援であり、町外の高校へ通っている津南町の高校生への支援は考えていない。

問 町外の高校へ通っている高校生への助成は検討したか。

町長 津南中等教育学校へ通っている前期課程生徒への支援は、地域の発展、学校の存続に向けた支援であり、町外の高校へ通っている津南町の高校生への支援は考えていない。

はどうだったのか。また、回答を受けて町は何をするか。
町長 県は、存続に向けて、「志願者数の増加策として、特色化・魅力化が必要。今後地元自治体と協議していく」とし、その結果により、令和5年度に再度検討する。
町は、十日町市長・南魚沼市長と懇談し、実績を上げている学校であり、小学生が自己実現に向けての進路選択ができる学校であること、存続をのぞむことを確認している。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

請願・討論

津南町議会議場に国旗の掲揚を求める請願

請願団体名「日本会議・新潟県本部」

賛成多数で採択

反対討論

桑原 義信

議場に国旗の掲揚を求める請願に反対する。理由の第一は、議場は町民の為に様々な立場から意見を交わし、自由に中立公正に議論する場であり、様々な意見のある「国旗」掲揚を押し付けるべきでない。国旗の役割は国が公の場で国を表すシンボルとして使い、義務づけたり強制されるものではない。第二に「日の丸」は太平洋戦争中、侵略戦争のシンボルとなって侵略の旗印として使われた。国民の中には拒絶反応を持つ人たちが多数いて、現在でも国民的合意があるとはとても言えない。私の父も戦争に駆り出され、昭和24年やっとの思いで帰ってきたが、日の丸のことも青春を棒にふるった苦い思いを戦後ずっと引きずってきた。侵略されたアジアの国々にとって日の丸は今でも野蛮な日本軍国主義の記憶と結びついている。ドイツ、イタリアは侵略戦争の反省から当時の旗を国旗としていない。どんな国旗が今の日本にふさわしいか意見や知恵を出し合う時と思う。

反対討論

小木曾 茂子

津南町議会議員は、津南町の有権者の総意によって選出されている。その役割は津南町民の生活の質を高め、文化自然を守り、安全安心な持続可能な暮らしを作り出すことだ。もし、議場に旗を掲げる必要があるのであれば、それは日の丸ではなく、津南町の旗であるべきと思う。町民の幸せを願う心を忘れないという意味においてである。もちろん国のことをないがしろにするつもりは毛頭ないが、過去、現在、未来にわたって、国の利害と町の利害が対立することも充分あり得る。「地方自治」は基本的には住民自治の要であり、その原理は「国との別人格の統治団体が公共事務を行うという手段を要請する」これが地方自治の本旨とされている。
もちろん私たちが住民の代表として、地方自治体の様々な決定にかかわるとき、国全体のこと、あるいは世界全体のこと、子供たちの未来にかかわることまで考えを及ぼす必要がある。もし、津南町議会が掲揚するとしたら、津南町の旗か、あるいはどうしてもというなら万国旗を議場に張り巡らせることが、今の時代にふさわしいと私は思う。

委員会レポート

Commission Report

総文福祉常任委員会

6月22日コロナ感染予防のため延び延びになっていた民生児童委員会との懇談会がもたれた。事前に4部会から出された質問に答え、加えて様々な問題提起も受けました。

地域福祉部会より

① 病院通りの3か所の電柱移設を。保育園送迎、患者の往来とも危険。

② 使用できない避難所の代替案は。

③ 回答 工事中、耐震性の不足、土砂災害の恐れ等で計11カ所が不相当とされている。地域から対策を町に要望することが望ましい

高齢者部会より

① とりわけ冬季の交通安全について、空き家等の管理はどうなっているか。

② 回答 通学路については年1

回関係者が集まり、確認の会議を開いている。空き家については住民からの通報により、管理者に要請する手はずになっている。

② 集落で高齢者住宅等の除雪支援のための除雪機のレンタルはできないか。

③ 回答 除雪機取得にはコミユニティ助成事業として250万円を上限の支援がある。レンタル可能な支援を要望していく。

③ 冬季保安要員の確保を。

④ 回答 「30世帯未満の集落」「高齢化率50%以上の集落」「集落内未除雪区間が1km以上」のうち2つの要件を満たす必要がある。該当する集落には意向確認を行っている。制度を充実させたい。

障がい者福祉部会より

① 交通対策について、新しい仕組みを周知してほしい。

② 回答 公共交通網について「津南地域公共交通協議会」でR4年度まで検討中。意見を寄せてほしい。

② 停電や断水などの時、町はきちんと理由と経過を知らせてほしい。

③ 回答 不安を解消するため、情報提供の手段を再考する必要がある。

③ 高齢化、災害激甚化の昨今、県災害救助条例、国の災害救助法の見直しを。

④ 回答 積雪計測地の変更はできないと聞いている。町対策本部は積雪281cm、県条例は337cm、国の救助法は365cmで昨冬のような激烈な降雪に対応できていない。国への要望を強めていく。



民生児童委員との懇談会

児童青少年福祉部会より

① あいさつ運動、ラジオ体操などに議員は参加しているか。

② 回答 コロナ感染予防のため、積極的参加はできなかった。

② 小学校統合の今後の予定は。

③ 回答 H20小中学校適正検討委員会が町へと答申し、それに沿って進められている。地域とのかかわり、少子化対策、様々な問題を加味し、検討していく。

産業建設常任委員会

令和2年度事業の成果巡視

◆と き 4月26日(月)

◆内 容

① 県農林水産総合振興事業株式会社桔梗屋(岡)

代表阿部正樹氏
正規雇用3名、パート5名
キャベツ収穫機1,049万円
(県補助413万円)
鉄骨造集出荷施設188㎡
2,997万円(県補助1,635万円)
苗場山麓第一地区において

キャベツ、スイートコーン、ズッキーニ、にんじん、加工トマトを栽培、水稲との複合経営、また冬季



品目としてウルイ、チコリを試作するなど新しい営農を模索する。

② 反里口頭首工災害復旧工事
事業費8,862万円（国庫補助8,534万円）

台風被害の復旧、護床ブロック伏せ替え大規模工事護床平面型ブロック、すり付け工長方形ブロック、計278個を伏設



③ 割野・巻下台風災害田・畑復旧工事
事業費2,089万円、掘削及び整地耕作前完了

④ 中深見堂平線町道改良舗装工事
事業費1,516万円、延長40m



⑤ 宮野原亀岡線改良舗装工事
事業費1,105万円、延長24m、斜角門型カルバート2基伏設

⑥ 菖蒲原線（大割野地内）消雪パイプ敷設替工事
事業費656万円、延長80m



⑦ 巡視を終えて
近年農業生産法人の設立が続いている。担い手としての大規模化、複合化による経営の安定と冬季作物の栽培による通年型農業の実現に期待する。反里口頭首工は大きなブロックが整然と並び見映えが良い。また町道等インフラ整備については限られた予算であるが少しずつ進めてもらいたいと思う。

議会から新型コロナウイルス感染症対策に関する要望

津南町議会より議長名で新型コロナウイルス感染症拡大に伴い大きく4項目の対策について去る7月16日、町長あてに要望書を提出いたしました。

要望書の概要

新型コロナウイルス感染症が日本で発覚してから1年6カ月余りが経過致しましたが、現在もなお大都市では、医療現場がひっ迫し緊急事態宣言延長やまん延防止対策が発令されているところです。

このため、政府では飲食店関係の営業の時間短縮等を要請し、また人流を抑える意味でイベント等の開催や参加の自粛を要請、国民も必要最小限度の行動に留めているところです。

津南町においても万全の対策を講じておりましたが、残念ながら4月下旬から5月上旬にかけて感染者が多く発生致しました。

この様な状況下の中、津南町民も経済面や生活面で困窮している事業者や世帯が多くあり、町独自のさらなる支援策の拡充に努めるよう、津南町議会より下記のとおり要望致します。

1 感染防止及び衛生面での対策支援事業
PCR検査の拡充と検査キット購入補助を計画すること。

2 小規模事業者への経済支援事業
賃借家賃の補助、食事券の発行を盛り込むこと。

3 家計負担の支援策
ひとり親家庭のアパート代の補助を盛り込むこと。

4 子育て支援の拡充
津南町を離れた大学生、専門学校生への生活支援を行うこと。



医療従事者として接種を受ける林院長

津南町議会では各議員からコロナ感染拡大の対策として、多くの提案が提出されましたが、予算枠のある中右記4項目に絞り込みを行いました。



町民登場

アスパラ畑広げたい

中村 勝さん(堂平)

アスパラ生産農家で、冬はお餅の製造、販売に頑張っている堂平のご夫婦にお会いして来ました。

◆自己紹介

中村 勝さん(42才):堂平
妻 幸美さん(39才):沖縄県出身
子ども:小学生と中学生の2人

横浜で働いていた美容室が一緒に、平成18年11月に結婚、20年に津南に引っ越して来て12年になりました。

Q お仕事は?

実家の農業を継ぐため帰って来て、水田5ヘクタール、アスパラ畑50アールを作っています。加工トマトも作っていたけど大変でやめました。

アスパラも畑が弱ると尾を引くのでそろそろ収穫をやめ、来年に向けて頑張ります。11月から年末にかけてモチの製造、販売もするため忙しいです。

Q お二人の趣味は?

勝さん:音楽鑑賞かな?
幸美さん:小物類作りや編み物、カラオケ

Q 町への要望は?

自分たちも農業で頑張っているの、支援を幅広く用途に沿ってお願いします。町もネット販売などに力を入れており、津南産として作物に力と知名度が上がっているが、注文に対し足りないことがあり、もっと生産量を増やさないといけないと思います。

Q 将来の夢は?

アスパラ畑をもう少し広げていきたい。コロナが終息したら、実家の沖縄に家族で行きたい。約2年も帰ってないから、と幸美さん。

インタビューの感想

色々苦勞もあると思いますが、楽しく農業を営んでいる明るくて素敵なお夫婦でした！ありがとうございました。



ひまわりの世話を続ける南雲さん

コロナ禍で、ひまわり広場が中止となり「さみしい」と、地域おこし協力隊の一人が長坂に穴を掘り、ひまわりの種をまいてくれました。

地域支援員の一人は、毎日早朝からアスパラの盗難を防ぐためにパトロールしてくれました。

鳥獣被害を防ぐため、猟銃免許を取得した人もいます。彼らの活躍は、町民の心を暖め、元気を与えてくれます。本当にありがとうございます!!

編集後記

